

学校名 : 学校法人開新学園 熊本工業専門学校

課程名・学科名 : 職業実践専門課程 自動車整備工学科・電気システム科・機械システム科

資料名 : 学校関係者評価結果公表資料

### 令和5年度学校関係者評価結果

#### 1 令和5年度 熊本工業専門学校 教育重点目標

建学の精神「創造・倫理・実践」を礎に、我が国、とりわけ郷土熊本の産業経済に貢献できる人間性に富み、社会の変化に柔軟に対応できる創造性豊かな「中堅技術者」を養成するとともに、留学生に対して日本語教育を通し、広く国際貢献への橋渡しを行う。

また、留学生との交流を通し、国際的に活躍できる技術者となるための感性を磨かせる。

#### 2 学校関係者評価委員会

日時 令和6年2月22日 15:30～

会場 本校日本語科教室

熊本工業専門学校

#### (1) 教育理念・目標

#### 3.6

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会ニーズ等を踏まえ「AI講座」「ドローン技術講座」等をリニューアル計画で実行されたことは良いと思います。しかし、将来構想まではイメージ出来ない。</li><li>・各学科の目的や育成人材像などは明確に打ち出されているが、学校全体の理念や目的が少し希薄になってはいないか。</li><li>・HP、冊子は、熊本工専の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などを学生・保護者等に周知させるために丁寧に作成されています。ただ、二つの広報媒体の内容はほとんど同じです。</li></ul> <p>周知度を高めるために、冊子はパット見てわかる熊本工専、HPは詳細な情報など、情報発信の役割分担は考えられませんか。例えば、冊子の学科案内は写真の説明の追加や簡潔明瞭な説明にするなどの工夫もありそうです。いかがでしょうか</p>
回答	<ul style="list-style-type: none"><li>●建学の精神「創造・倫理・実践」を掲げ、アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーにより、学校としての目的、育成人材像を明確にしていく。</li><li>●学校説明用パンフレットは、今年度4月の初めには発行することとし、内容も簡素化しよりアピールができるように改定する予定です。</li><li>●ホームページも行事实施等はタイムリーに改定してきたが、学校の理念等の「見える化」には改善の余地があると思うので、未来への方向性をよりアピールできるようにしていきたい。</li><li>●来年度はAI、ドローン、半導体、3Dプリンター等の技術をより明確に習得できるようなカリキュラムに改訂します。</li></ul>

#### (2) 学校運営

#### 3.6

<p>学校関係者評価委員会委員御意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報不足で評価できない。 昨年、「ワーキンググループ」を発足し、検証して業務改善に取り組むとなっていたが状況を公開してほしい。</li> <li>・資料が不足しており評価が難しい。学生の確保は喫緊の課題だと感じる。</li> <li>・2年間の教育期間を考えると厳しい面もありますが、一般教養の時間が少ないと感じました。</li> <li>・学校運営のPDCAで、PDは工夫されていますが、CAの体制がやや物足りないと感じました</li> <li>・コロナが5類に移行したことで留学生の増加は予想されるが、国内の少子化が進む中、社会人の学び直しを想定したリカレント教育などを導入されてはどうか。</li> </ul>
<p>回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●改善活動として、①学生募集、②環境整備、③業務改善、④その他 の4つの項目で職員から提案を求めた。予算が伴う教育環境については、引き続き検討しているが、除草や樹木伐採、壁紙の張替、照明器具の交換など職員でできることは実施できた。改善活動は継続して職員から提案できる体制をとっている。</li> <li>●学生募集に関しては、福岡、鳥栖、小郡、古賀市等の日本語学校を定期的に訪問し、学生を募り、一定の成果を上げたと思う。来年度もこの活動を継続していきたい。</li> <li>●リカレント教育に関しては実施していません。ただし、社会人の学びなおしに関しては、厚労省より「専門実践教育訓練給付制度」の指定を受けており、毎年これを利用して入学してくる学生がおります。</li> </ul>

(3) 教育活動

3.4

<p>学校関係者評価委員会委員御意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成や修業内容の評価は、教える側と習う側で実施しないと評価ができない。</li> <li>・各種規定や実施体制等は整備されていますが、それを熊工専の魅力として情報発信する工夫が必要と思います。</li> <li>・資格取得に力を入れていますが、人材育成＝資格取得の印象を受けます。人材育成目標に対する取り組みをもう少し分かり易くする説明する必要はありませんか。</li> </ul>
<p>回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学生に対して毎年度授業評価を行い、授業等について学生の満足度を測り、その結果を教師にフィードバックし、改善を図っている。</li> <li>●ホームページをタイムリーに更新し、魅力ある情報発信を行いたい。</li> </ul>

(4) 学修成果

3.5

<p>学校関係者評価委員会委員御意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生が就職して活躍してくれることが一番の学校PRにつながる。卒業1年から3年間ぐらいの期間をフォローする仕組みを作ってはいかがでしょうか。</li> <li>・資料が不足しており十分な検討が難しい。就職100%が継続されているのは素晴らしい。</li> <li>・熊本工専の魅力発信や卒業後のキャリア形成への効果を狙って、大変ですが、年間を通じてグループで取り組む学習課題を設け、その成果をアピールしていく工夫は</li> </ul>
------------------------	--

	<p>できないでしょうか。</p> <p>例えば、開講しているロボットやドローン、AIなどを道具として利用する自動機器の製作を課題として挑戦させ、その取り組みや成果を高校生、保護者、企業にも情報発信すると、注目してもらえるのではないのでしょうか。</p>
回答	<p>●パンフレット、リーフレットを活用し、高校訪問、日本語学校訪問、進学説明会等にてPRしている。</p>

(5) 学生支援

3.4

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職を見据えた人材開発</li> <li>・就職率などからみると学生相談などにしっかり取り組まれていると感じられる。一方で経済的支援体制等については継続した検討が必要と感じる。</li> <li>・丁寧な学生支援を行っていると思います。</li> </ul>
回答	<p>●最後の一人になるまで、学生の就職支援を継続している。</p> <p>●高等教育の就学支援新制度を活用し、学生への経済的支援を実施している。</p> <p>●同窓会を組織して卒業生を支援していく予定。</p>

(6) 教育環境

3.1

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備や施設の充実化。</li> <li>・ニーズに応じた教育をしていくためにも設備導入は常に大きな課題である。</li> <li>・資格取得のための教育には、設備の充実は不可欠です。</li> </ul>
回答	<p>●施設の整備につきましては、計画的に進めていく所存です。今年度末には、学生寮のリニューアルを実施しており、快適な学生寮を提供できる予定です。</p>

(7) 学生の受入れ募集

3.5

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の工業高校のみならず、普通高の進路担当者との関係づくり。</li> <li>・少子化が進むにつれ学生の確保は喫緊の課題である。</li> <li>・少子高齢化、TSMC進出、IoTやAIなどの影響で、熊本のものづくり人材に求められるものも変わり始めています。基本姿勢に基づく熊本工専の魅力づくりや情報発信は高校生や保護者にも響くのではないのでしょうか。そのためにも教育活動の中で、魅力づくりをされたらいかがでしょうか。</li> </ul>
回答	<p>●広報活動に注力し、「マイナビ」からの情報発信、進学情報会社「さんぼう」の主催する進学説明会への積極的な参画、YouTubeでのPR、TVコマーシャル、熊日への広告等を活用し、学校PRに力を入れている。</p>

(8) 財務

3.4

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・財政安定化に向けた学生募集。</li><li>・情報不足により評価が難しい。</li><li>・財務は、学生の充足率がポイントです。資格取得も魅力ですが、カリキュラムの中で魅力づくりができるとう面白いのですが。</li></ul>
回答	<ul style="list-style-type: none"><li>●財務改善を図るため、特に新入学生の増加を図るべく活動している。</li><li>●学生募集に関しては、福岡、鳥栖、小郡、古賀市等の日本語学校を定期的に訪問し、学生を募のり、一定の成果を上げたと思う。来年度もこの活動を継続していきたい。</li></ul>

(9) 法令等の遵守

3.5

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・特段に問題は感じられないが、組織としてチェック機能が働いているのかは判断がしにくい。</li></ul>
回答	<ul style="list-style-type: none"><li>●組織としてのチェックは行っていないが、副学長を中心に教官会議等を通して啓蒙活動を行っている。</li></ul>

(10) 社会貢献・地域貢献

3.1

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・今や、企業が社会貢献・地域貢献を率先している。学校が率先して貢献活動を学生に体験させてほしい。</li><li>・情報不足により評価が難しい。</li><li>・留学生の地域貢献についての情報発信はあるが、日本人学生の社会や地域への貢献は不明。</li></ul>
回答	<ul style="list-style-type: none"><li>●6月に紫陽花祭りを実施し、地域の住民の方々に来ていただいた。学校を取り巻く町内会から約200名の方々に来校された。この活動は来期も継続していく。</li><li>●第一町内会の「町内会祭り」に本校の留学生がネパールの民族衣装で参加し、好評を博しました。今後も町内との関係を密にしていきたい。</li></ul>

(11) 国際交流

3.5

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・情報が不十分で判断が難しい。</li><li>・留学生の卒業後の進路がわかりにくい</li></ul>
回答	<ul style="list-style-type: none"><li>●学生募集に関しては、福岡、鳥栖、小郡、古賀市等の日本語学校を定期的に訪問し、学生を募のり、一定の成果を上げたと思う。来年度もこの活動を継続していきたい。</li></ul>